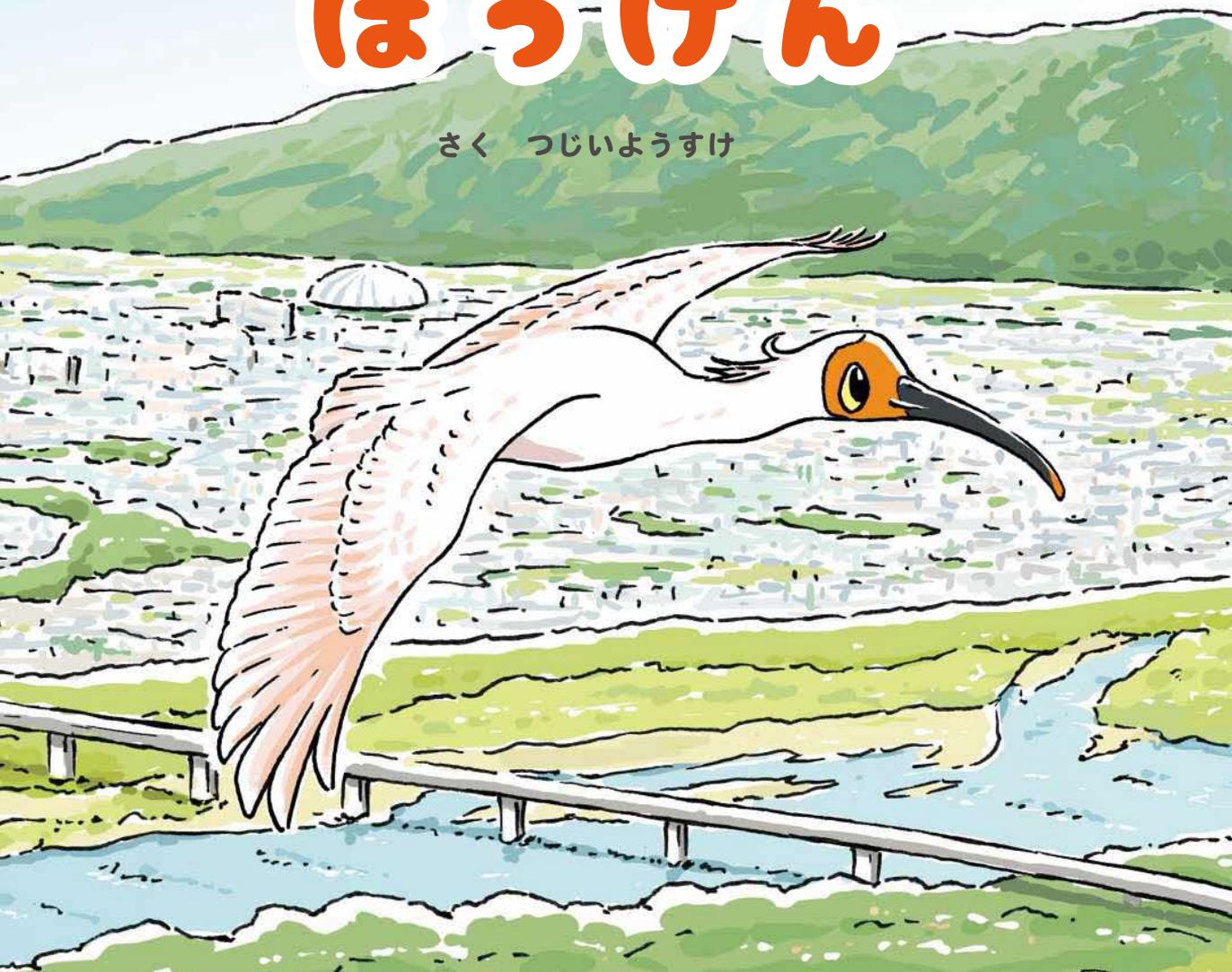


いずものトキ

くるりの ぼうけん

さく つじいようすけ



いずものトキ

くるりの ぼうけん

さく つじいようすけ



トキの くるりは おさんぽが だいすきです。

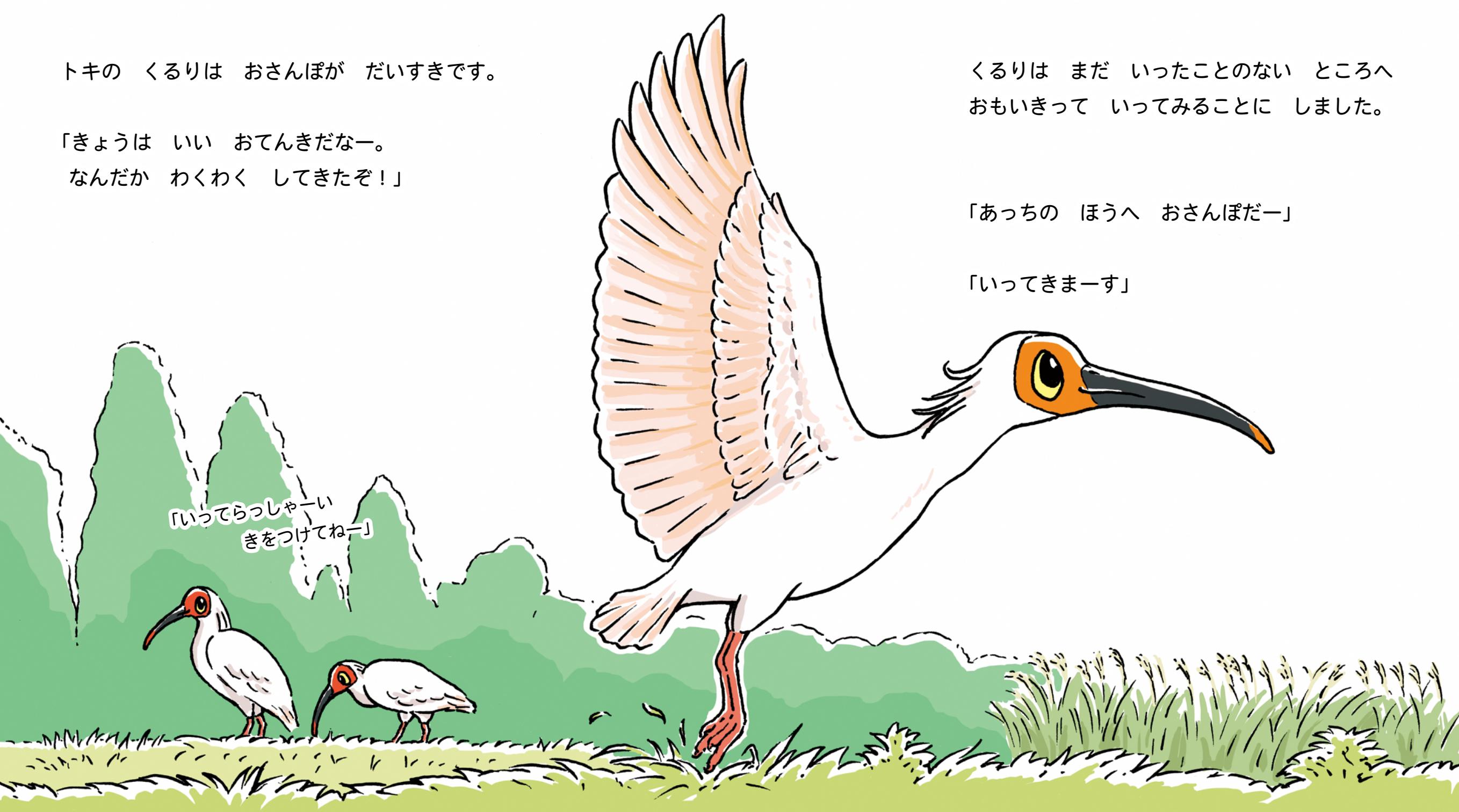
「きょうは いい おてんきだなー。
なんだか わくわく してきたぞ！」

くるりは まだ いったことのない ところへ
おもいきって いてみることに しました。

「あっちの ほうへ おさんぽだー」

「いってきまーす」

「いってらっしゃーい
きをつけてねー」



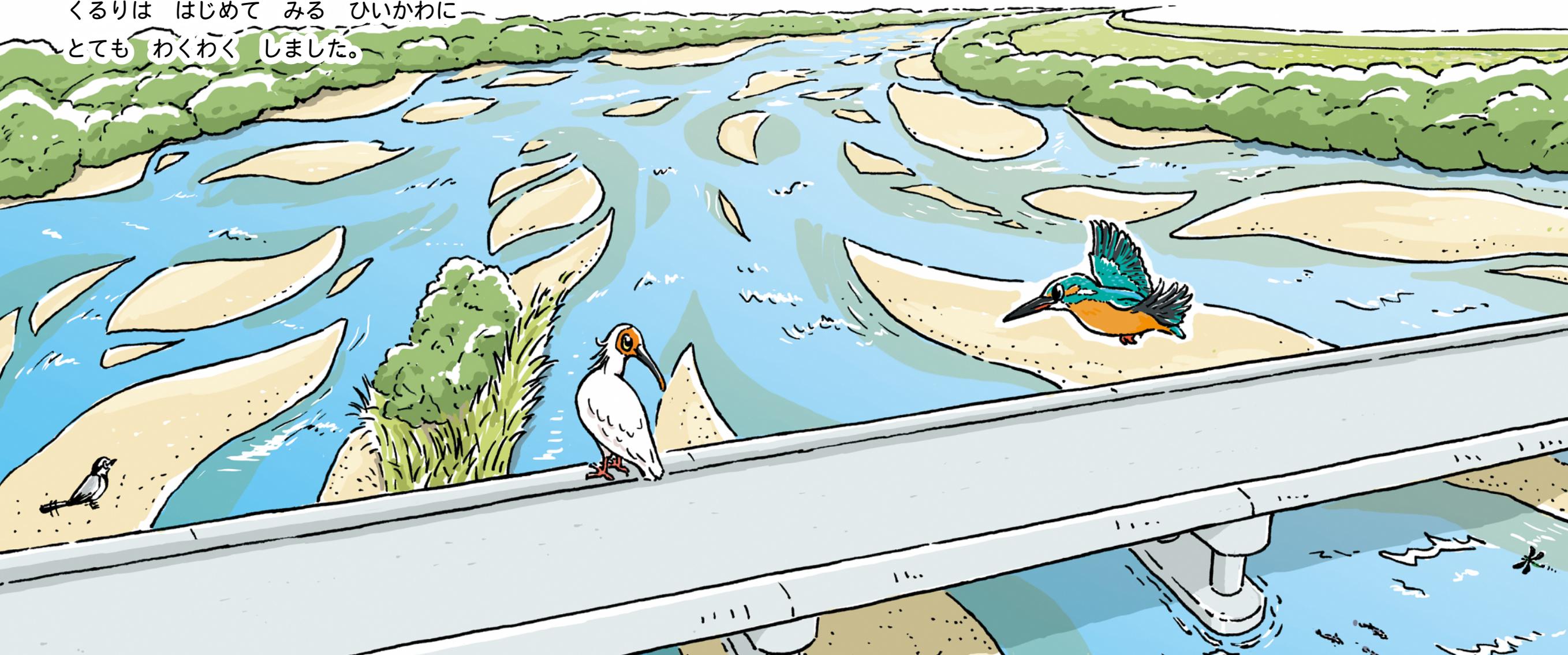
くるりは ひいかわへ やって きました。

「すごく ひろい かわだなあ」

くるりは はじめて みる ひいかわに
とても わくわく しました。

そこへ いちわの カワセミが やってきました。

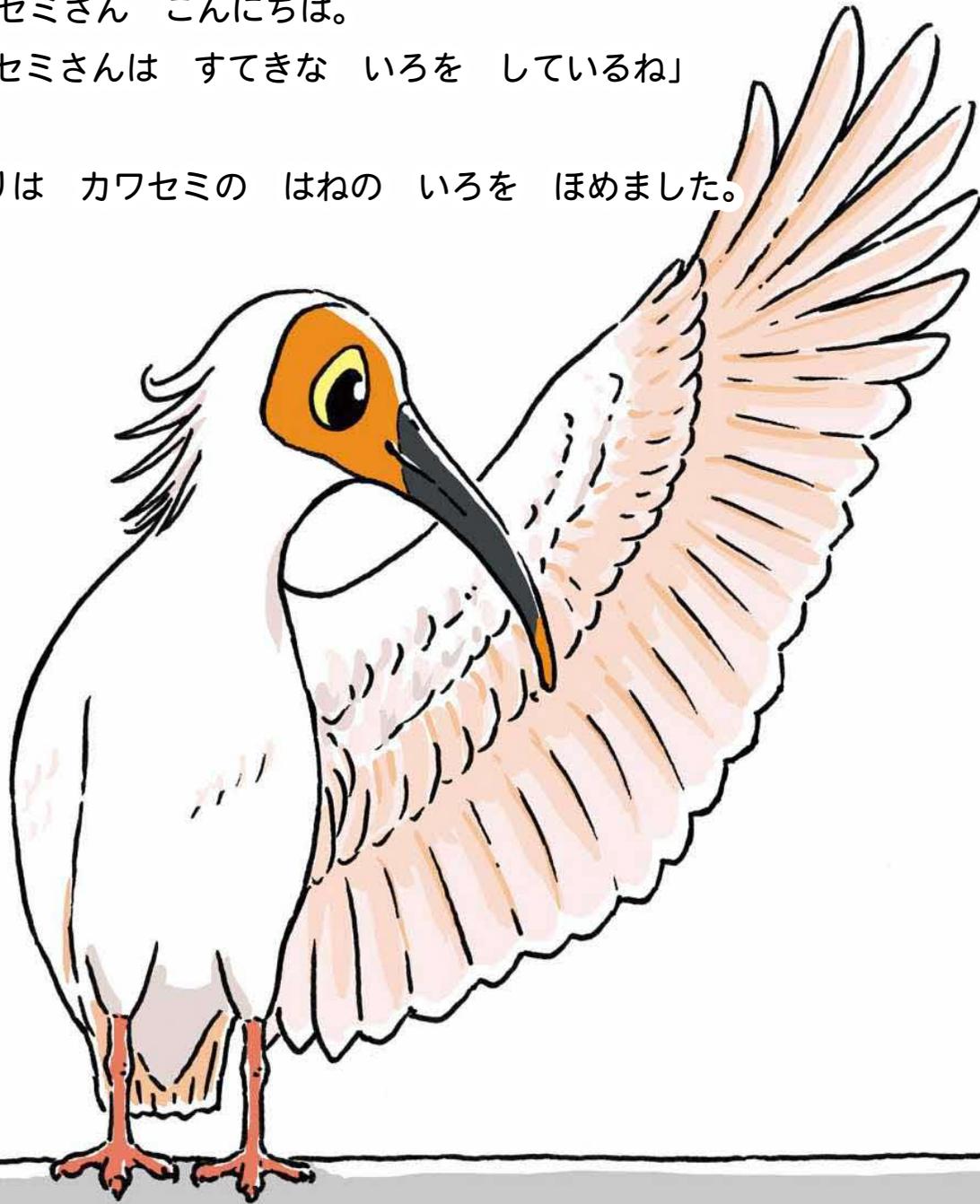
「やあやあ くるり こんにちは」



「カワセミさん こんにちは。

カワセミさんは すてきな いろを しているね」

くるりは カワセミの はねの いろを ほめました。



「ぼくは はるに なったら へんしんして
はねの いろが くらっぼく かわるんだよ」

くるりは
とくいげに いいました。



「へえ～ カッコいいね!
また みせてね」



「じゃあ わたしは さかなを とりに いくねー」
そうって カワセミは とんで いました。

「カワセミさんは さかなを つかまえるの じょうずだなあ」

「ぼくも おなかが すいてきたぞ」

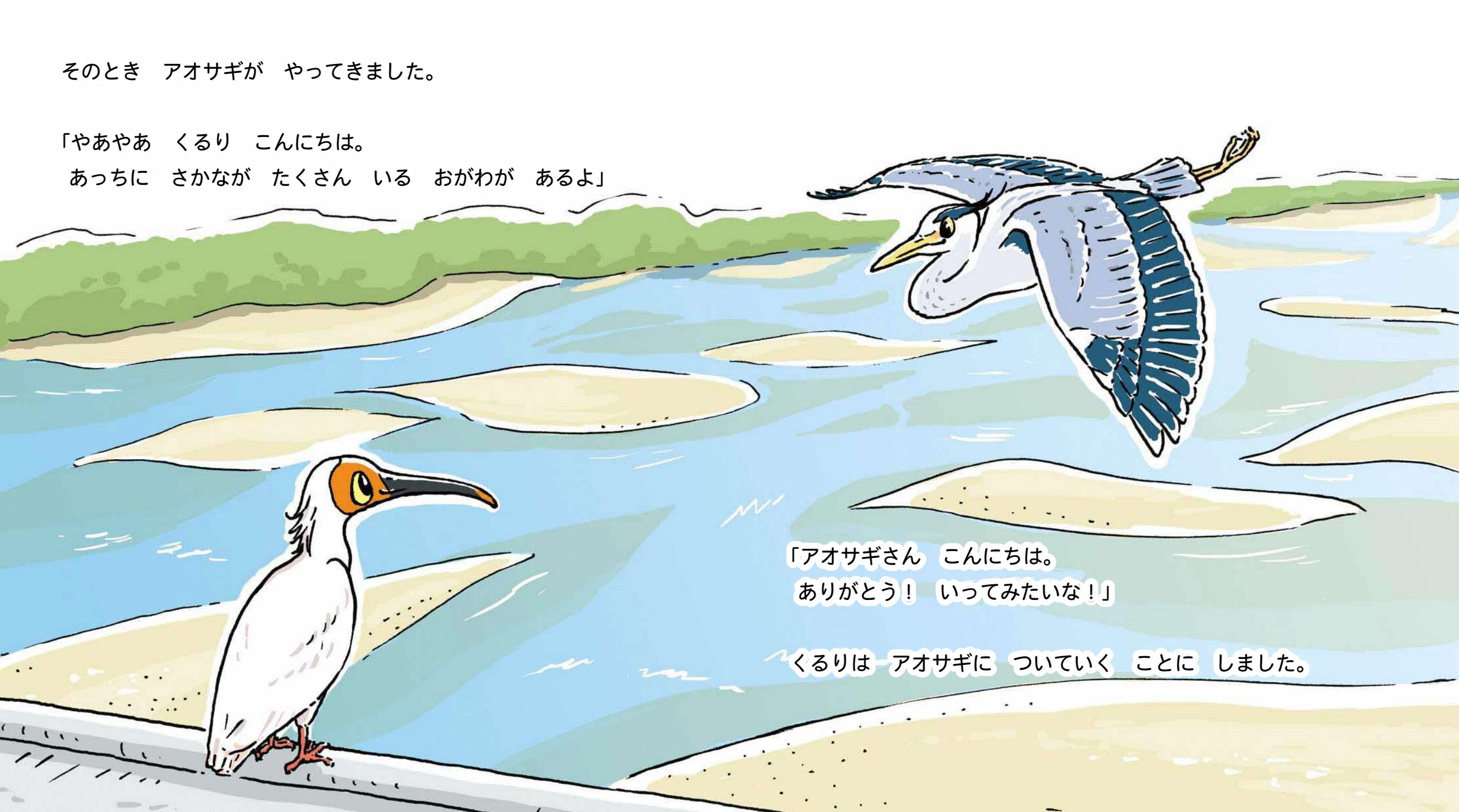
くるりも ここで さかなを つかまえようと
あたりを みわたしました。



そのとき アオサギが やってきました。

「やあやあ くるり こんにちは。

あっちに さかなが たくさん いる おがわが あるよ」



「アオサギさん こんにちは。
ありがとう! 行ってみたいな!」

くるりは アオサギに ついていく ことに しました。

その おがわには たくさんの さかなが いました。

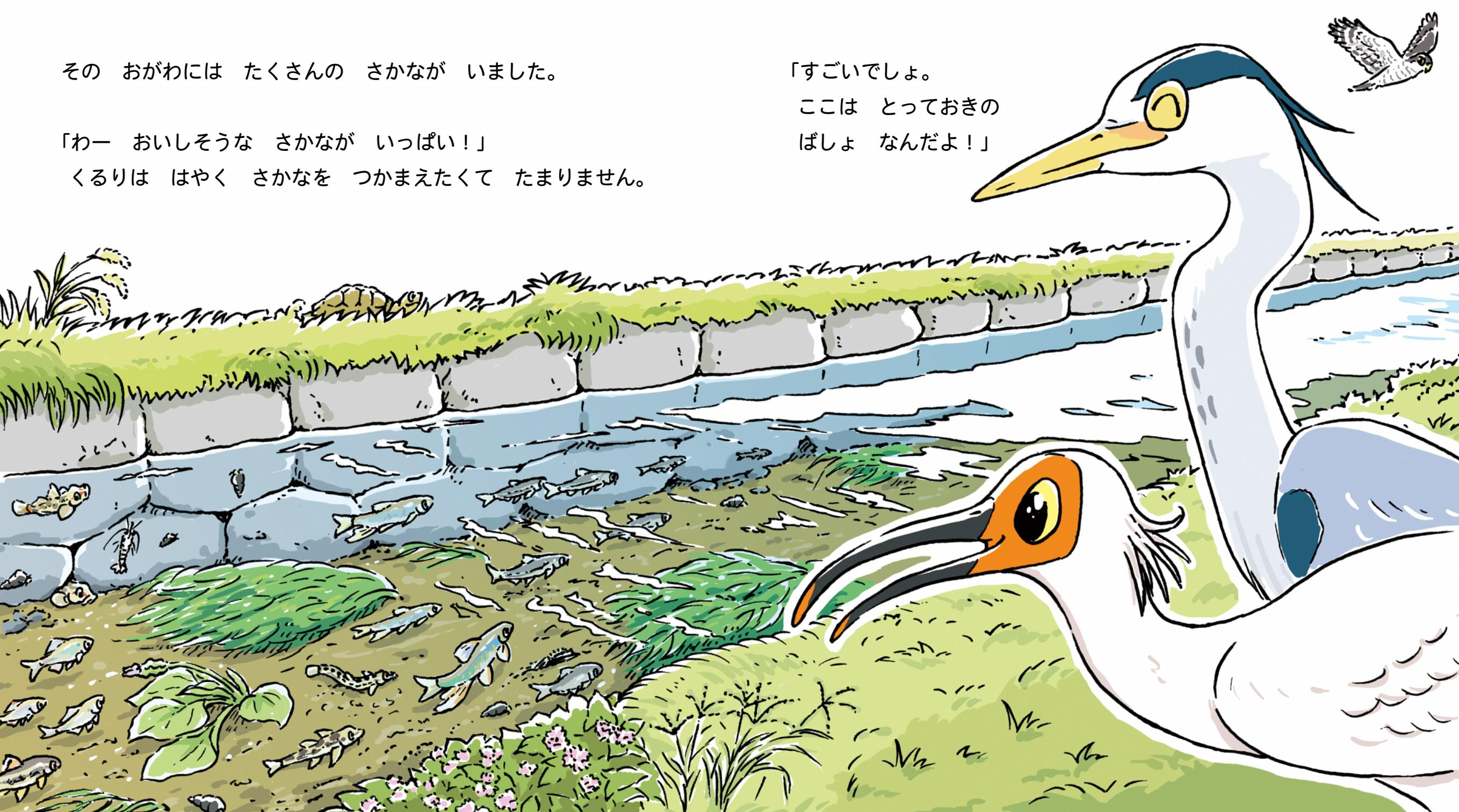
「わー おいしそうな さかなが いっぱい！」

くるりは はやく さかなを つかまえたくて たまりません。

「すごいでしょ。

ここは とっておきの

ばしょ なんだよ！」

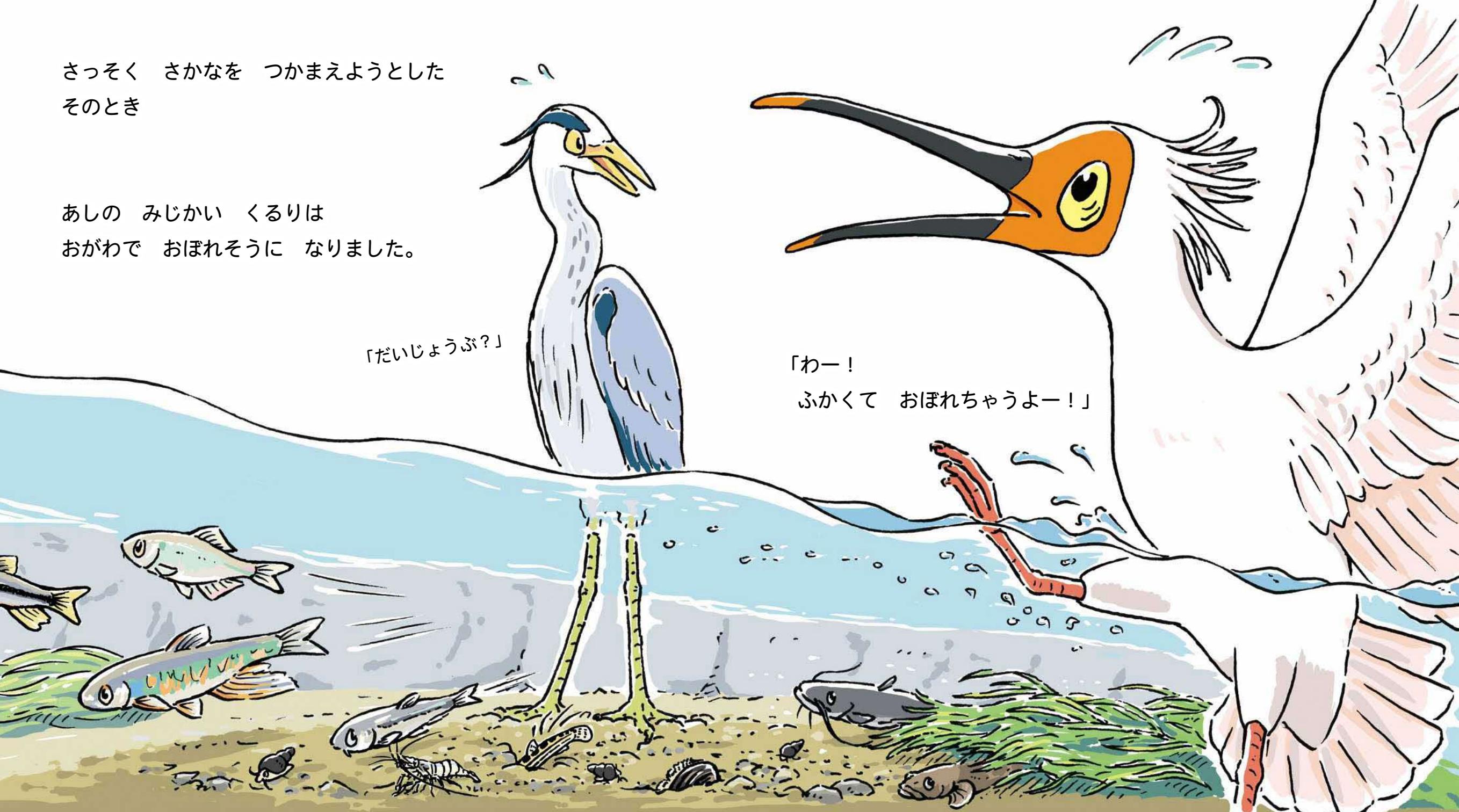


さっそく さかなを つかまえようとした
そのとき

あしの みじかい くるりは
おがわで おぼれそうに になりました。

「だいじょうぶ？」

「わー！
ふかくて おぼれちゃうよー！」



たすかったと おもったら
こんどは オオタカが くるりを つかまえようと
おそいかかって きました。



「わー！ こわいよー！！」
くるりたちは ひっしに にげました。

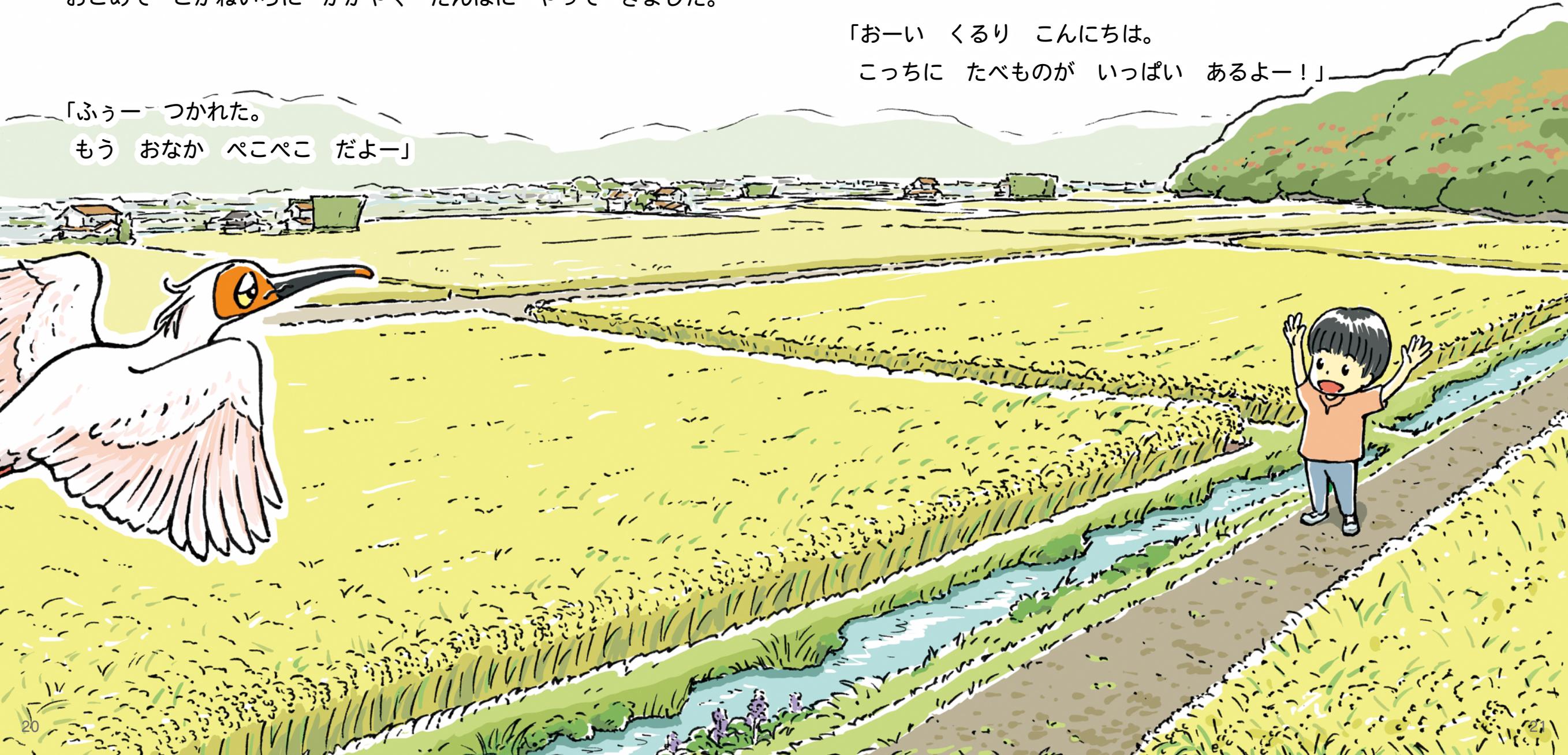


なんとか オオタカから にげてきた くるりは
おこめで こがねいろに かがやく たんぼに やって きました。

「ふうーつかれた。
もう おなか ペこペこ だよー」

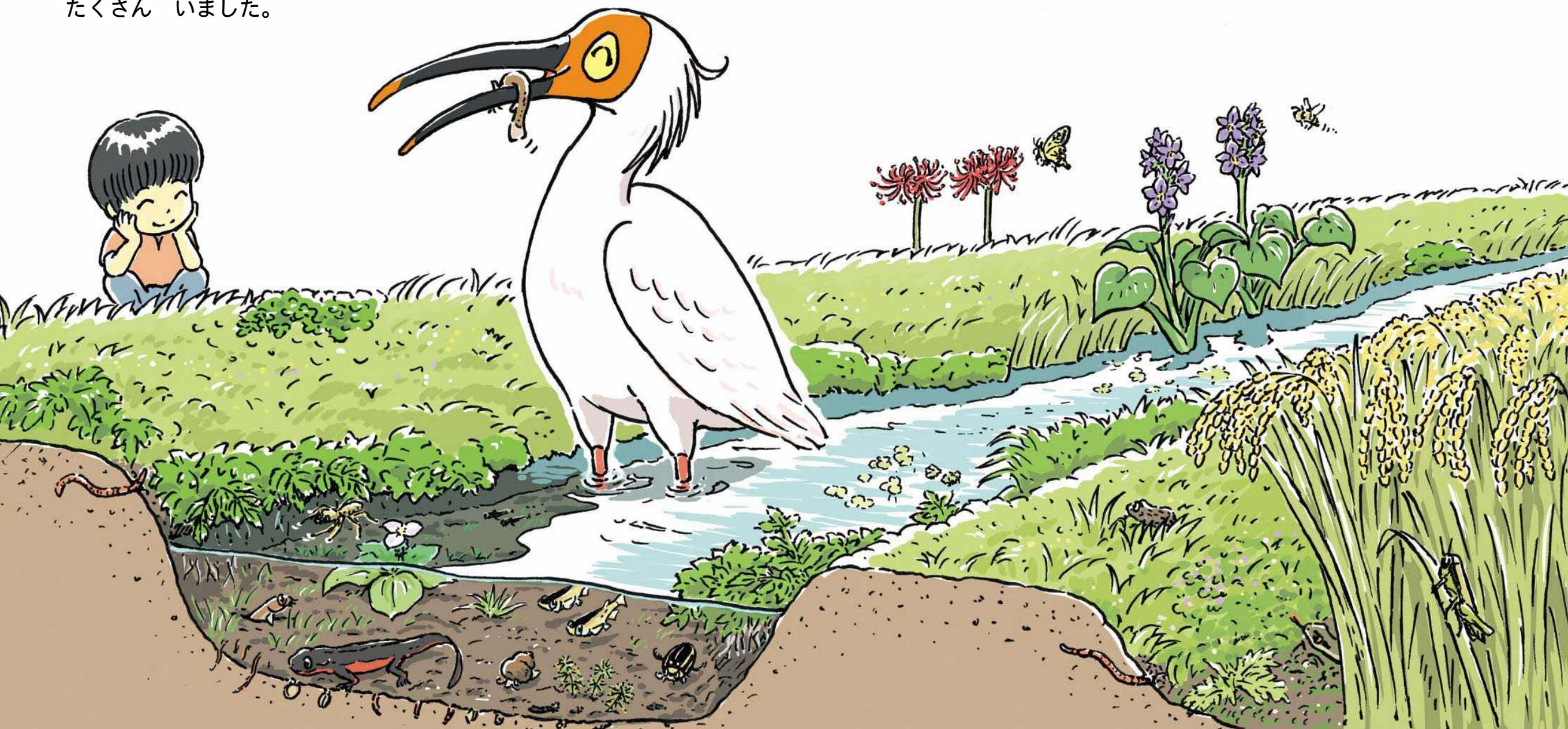
ひとりの おとこのこが くるりを よんでいます。

「おーい くるり こんにちは。
こっちに たべものが いっぱい あるよー！」



たんぽの よこの すいろには
くるりの だいこうぶつの いきものが
たくさん いました。

「わー すごいや！
ここなら ごちそうが たくさん たべられるぞ」

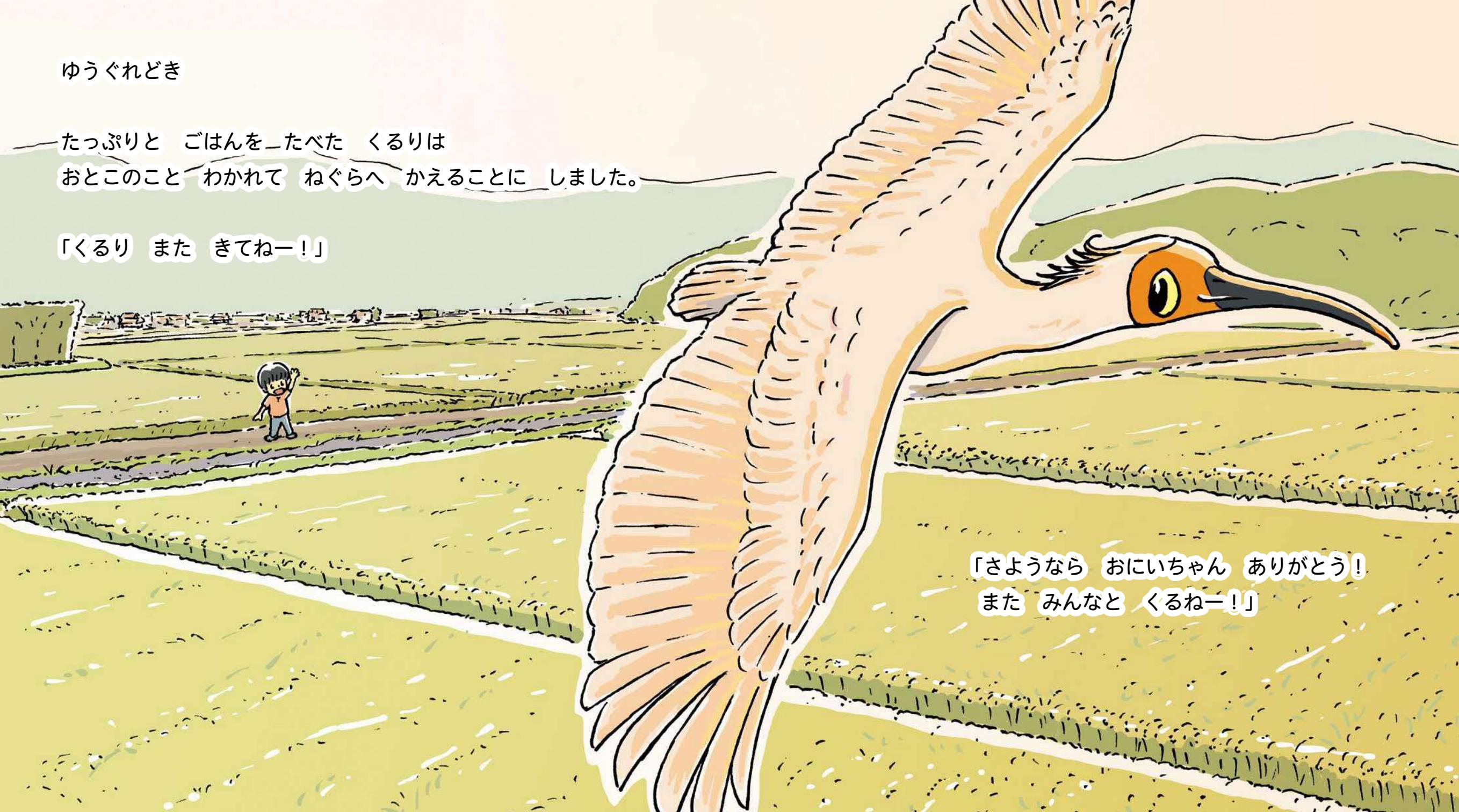


ゆうぐれどき

たっぷりと ごはんを—たべた くるりは
おとこのこと わかれて ねぐらへ かえることに しました。

「くるり また きてねー!!」

「さようなら おにいちゃん ありがとう!
また みんなと くるねー!!」





くるりは もりへ もどると
なかまと ゆっくり やすみました。

「きょうは たのしかったなあ。
あしたも たくさん たべたいなあ」

ところで どうして『くるり』 っていう
なまえ なんだと おもう？

それはね あたまの はねが
くるりと しているから なんだよ。

あとがき

私たちが暮らす出雲の風景にトキが舞う。そんなロマンあふれる思いを自分なりに絵本にしました。この話の中でトキのくるりが出会う生き物や風景は、私が見てきた出雲の自然を描いたものです。県外出身の私自身、この自然が好きで出雲に住み続けているようなもので、トキにも気に入ってもらえるといいなと思っています。

この絵本には、鳥のほかにも魚や草花など、たくさんの生き物たちが登場します。楽しく探しながら、自然豊かな出雲を感じてもらえると嬉しいです。

イラストレーター つじいようすけ

この絵本は、トキという鳥を知ってほしいと思って、作りました。

絵と文は、イラストレーター（絵をかく人）の“つじいようすけ”さんに、かいてもらいました。出雲市に住んで、川などの生き物を勉強されています。

トキは、ずっと前には、日本のどこでも飛んでいました。

だけど今は、トキがすめるような場所がなくなってしまったので、いなくなってしまいました。

トキが飛ぶまちは、きれいな森や川があって、私たちにも元気をくれるまちです。

私たちは、トキも人も、元気に暮らせるまちを作っていきます。

出雲市長

いずものトキ くるりのぼうけん

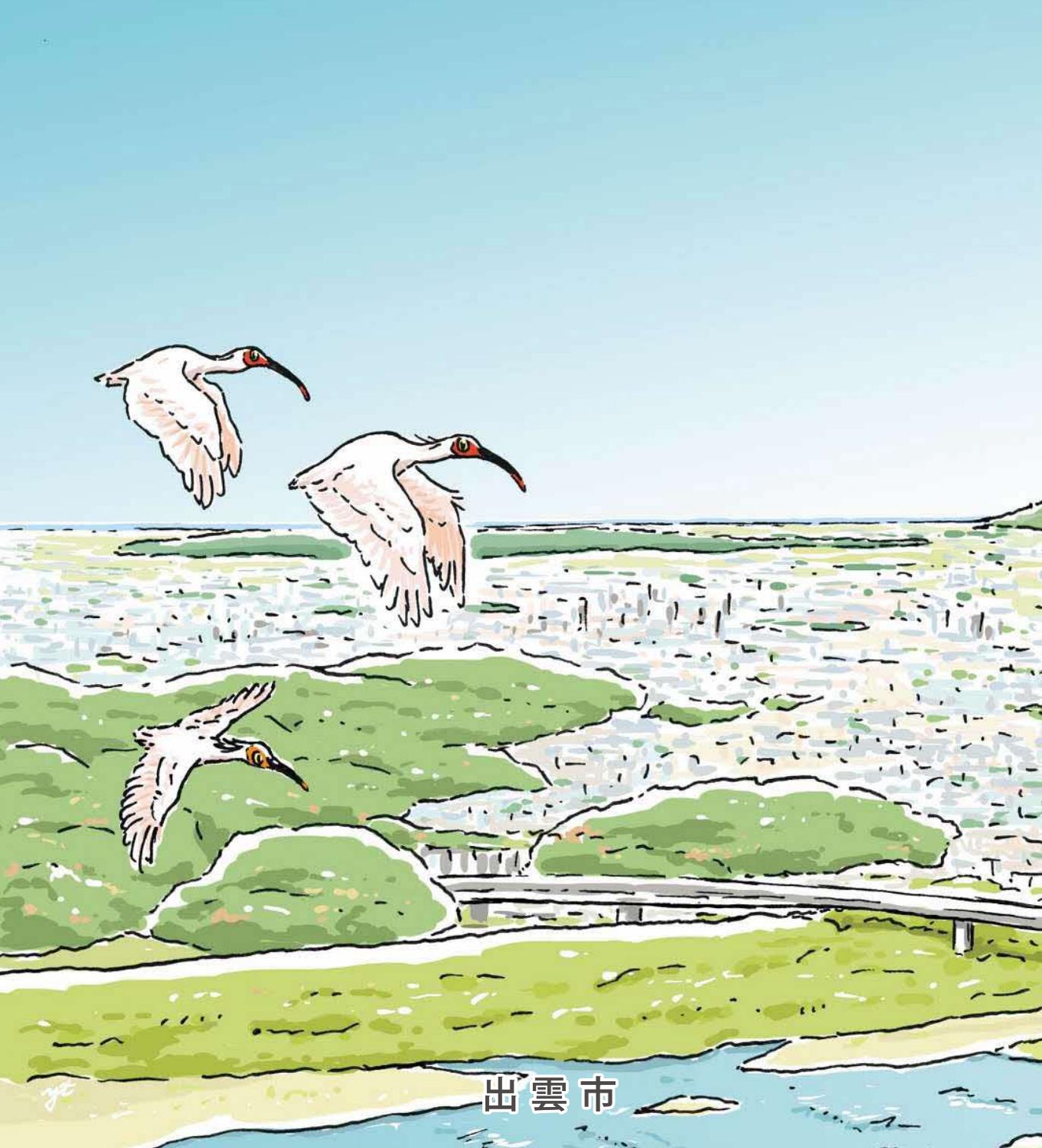
令和7年(2025)3月 発行・印刷

絵と文 つじいようすけ

発行元 出雲市(総合政策部政策企画課プロジェクト推進室)

〒693-8530 出雲市今市町70番地

TEL 0853-21-6079 FAX 0853-21-6752



出雲市